

【資料 1-1】

平成 26 年度全国学力・学習状況調査「笠間市の現状（成果と課題）」

【小学校・国語】

○…身に付いている内容 ●…課題と考えられる内容

領域	現状（成果と課題）	設問番号	市正答率（%）	全国正答率（%）	全国との差
話すこと・聞くこと	● 二つの立場の主張の共通点を捉え、話合いの観点を簡潔に整理することに課題がある。	B 1 一	62.9	65.2	-2.3
書くこと	● 発言を引用した上で、それに対する質問や意見を条件に合わせて書くことに課題がある。	B 1 三	34.2	28.3	5.9
	● 複数の内容を一文にまとめたり、「例えば」という言葉を使って具体的な事例を示したりして、条件に合わせて文章を書くことが十分に身に付いていない。	B 2 二	33.0	26.9	6.1
	● 二つの詩の内容や表現の仕方に着目した上で、共通点や相違点を取り上げ、条件に合わせて自分の考えを書くことが不十分である。	B 3 三	48.7	48.1	0.6
読むこと	● 疑問を推測するために付箋に書かれた内容を関係づけて読む力が十分に身に付いていない。	B 2 一	76.4	71.9	4.5
	○ 二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることができる。	B 3 一(1)	81.1	80.4	0.7
言語事項	○ 文の意味を理解し、第3学年の配当漢字「皿」を正しく書くことができている。	A 1 二(1)	98.0	97.8	0.2
	● 「百聞は一見にしかず」の意味と使い方の理解が不十分である。	A 2 二	64.5	49.9	14.6

【中学校・国語】

○…身に付いている内容 ●…課題と考えられる内容

領域	現状（成果と課題）	設問番号	市正答率（%）	全国正答率（%）	全国との差
話すこと・聞くこと	○ 目的に応じて資料を効果的に活用して話すことができている。	A 6 二	79.8	76.0	3.8
書くこと	○ 叙述の仕方を確かめ、適切に書き換えることができている。	A 4 二	85.6	80.5	5.1
	● 語彙力や比喩等の表現技法を活用する力が不足している。	A 2 二	77.1	79.8	-2.7
読むこと	○ 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することができる。	A 3 一	91.4	91.9	-0.5
	● 文章や資料の内容を的確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをまとめることに課題がある。	B 1 三	47.9	48.2	-0.3
言語事項	○ 文脈に沿って適切な語句を選択することができる。	A 8 三 (イ～キ)	83.5～ 97.1	80.8～ 96.2	-4.3～ 4.2
	● 適切な意味を選んで組み合わせる、語彙力が不足している。	A 8 四	61.8	59.9	1.9

【資料 1-2】

平成 26 年度全国学力・学習状況調査「笠間市の現状（成果と課題）」

【小学校・算数】

○・・・身に付いている内容

●・・・課題と考えられる内容

領域	現状（成果と課題）	設問番号	市正答率（%）	全国正答率（%）	全国との差
数と計算	○ 商が小数となる除法や異分母の分数の加法の計算の仕方をよく理解している。 ● 小数の乗法の意味を理解して計算することに関して課題がある。	A 1 (4)	94.0	91.8	2.2
		A 1 (6)	92.9	90.6	2.3
		A 2 (2)	55.7	54.1	1.6
		B 5 (2)	42.5	46.1	-3.6
量と測定	○ 体積についての単位と測定を理解して、体積を求めることに関してよく理解している。 ● 条件にあう時間を求めることに関して課題がある。	A 5 (2)	82.4	81.1	1.3
		B 3 (1)	37.6	38.6	-1.0
図形	○ 円周の長さを、直径の長さを用いて求めることに関して多くの児童が理解している。 ● 作図に用いられる平行四辺形の約束や性質を理解していない児童が多い。	A 5 (1)	88.9	83.9	5.0
		A 6	54.6	52.0	2.6
数量関係	○ 四則の混合した式の意味を正しく理解することができている。 ● 小数の乗法を理解して、示された情報を整理し、小数倍の長さの求め方を言葉や式で筋道を立てて記述することに関して課題がある。	A 8	83.5	81.0	2.5
		B 5 (3)	29.8	33.0	-3.2

【中学校・数学】

○・・・身に付いている内容

●・・・課題と考えられる内容

領域	現状（成果と課題）	設問番号	市正答率（%）	全国正答率（%）	全国との差
数と式	○ 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解することができている。 ○ 等式の性質と移項との関係を理解できている。 ● 数量の大小関係を不等式に表わすことについて課題がある。	A 1 (4)	90.4	91.1	-0.7
		A 3 (1)	92.7	89.7	3.0
		A 2 (1)	46.6	45.2	1.4
図形	○ 平面図形を平行移動させたときの、空間図形の構成について理解することができている。 ● 図形の性質を、構想を立てて証明することが不十分である。	A 5 (2)	85.4	84.8	0.6
		B 4 (1)	30.0	39.4	-9.4
関数	○ 一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解することができている。 ● グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を数学的に説明することが不十分である。	A11(2)	73.0	75.1	-2.1
		B 6 (3)	29.9	29.9	0.0
資料の活用	○ 樹形図を用いて与えられた条件を分類整理することができている。 ● 不確定な事象の起こりやすさの傾向をとらえ、判断の理由を説明することに課題がある。	B 5 (1)	81.9	79.7	2.2
		B 5 (2)	30.7	32.1	-1.4